



今回の先生



京都大学大学院
エネルギー科学研究科博士課程
秋津裕先生

私たちの身のまわりにも、 放射線ってあるの？

実は、放射線は私たちの身のまわりに、いつも存在しています。
でも、見えないだけに、どんなものなのか、よくわかりませんよね。

そこで、元幼稚園の先生で放射線理解の普及に努めている
秋津裕先生に教えていただきました。



Q1

放射線って何？

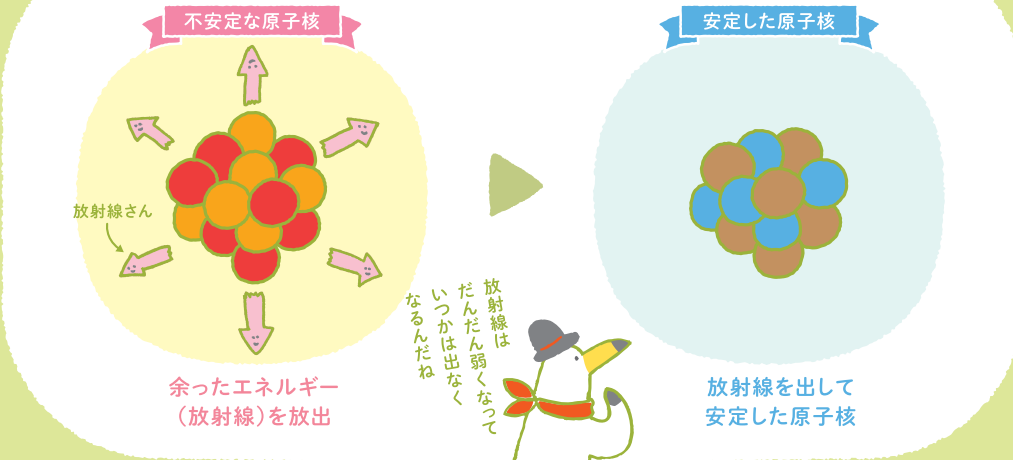


質問者代表
わかやさん

放射線は、 不安定な元素から出ているエネルギーです

A1

元素を構成する原子核の様子



ケーキを作る時に、小麦粉やバターなどの材料が必要なように、地球上のあらゆるものも材料がなければつくることはできません。この材料を元素といいます。元素は、138億年前、ビッグバンで宇宙が誕生した際や、太陽よりも大きな星が寿命を迎えて超新星爆発を起こす過程でできました。これら元素には、はじめから安定していて姿を変えないものと、不安定で変化するのがあります。不安定なものはエネルギーを出しながらより安定なものへと変わっていきます。この時に出来るエネルギーが「放射線」です。

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



Q2

A2

放射線ってどこにあるの？

放射線はいつでも、地球上のどこにもあります

とともに含まれているのです。

放射線は目には見えませんが、昔から常に私たちのまわりにあります。地球には、絶えず宇宙から放射線が降り注ぎ、大地からも放射線が出ています。空気にも放射線を出す元素が、



Q3

私からも放射線が出ているの？

A3

食事によって体に取り入れた元素から、放射線が出ています

野菜も、牛、豚、魚も、エサや養分として放射線を微量に出す元素を取り込みながら成長します。放射線を出す元素の中には、いきものの成長に必要な栄養素もあり、やがて、これらが食材として私たちの食卓にのびります。私たちは食事を通じて、常に体の中に放射線を出す元素を取り込んでおり、私たちの身体からも放射線は出ているわけです。

しかし私たちを含め、地球上の生物は放射線がある中で進化した、そのダメージに耐え修復するシステムをそなえていますので、普段の生活の中で受けるレベルの放射線は恐れる必要はありません。

かもじろうの発見!



僕らは毎日、放射線と一緒に暮らしてるんだね!

秋津先生からのメッセージ

火や水も多すぎれば命を奪うことがあるように、放射線に限らずなんでも多すぎると危険になります。私たちが注意すべきなのは、その「量」なのです。



中部電力

広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ:052-951-8211 平日9:00~17:00(土日祝、12/29~1/3は除く)